

<一般社団法人福島県法人会連合会会長賞>

身近にある税金

いわき市立磐崎中学校 2年 金成 美空

税金という言葉聞いた時、私が最初に考えたのは買い物をしたときなどに支払うお金の中に含まれている「消費税」です。消費税がかかる商品を購入する度に税金を取られている感覚でした。なので税金に対してあまり良いイメージがありませんでした。そのため、私たちの身近にある消費税をはじめとする税金の使われ方について知りたくなりました。私は、インターネットで調べてみました。

まず、税金の使われ方は3つあります。

1つ目は、公共施設です。公共施設とは図書館や道路、公園など、私たちの暮らしを豊かで便利にしてくれる施設のことです。

2つ目は、公共サービスです。公共サービスとは警察や消防、病院などの安心して生活できるためのサービスです。なかでも、病院でかかる治療費の一部を税金を使って払っているため、日本は治療費が安いそうです。

3つ目は、教育費です。これは私たちが平等に教育を受けられるためのもので、校舎の建築費や教科書や机、椅子などの設備費などに税金が使われているそうです。

ここまで調べた中で、一番興味を持ったのは、教育費や他にも色々な税金などのもとの支えられている学校でした。なぜなら学校は、私たちにとって必要不可欠なものだからです。

私が中学生になり、たくさん積み上げられた教科書に一冊、一冊ずつネームペンで自分の名前を書いていると、ふと、左下に書いてある「この教科書は、これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう。」という文章が目に入ってきました。この文章を目にしてから、私の税金への見方が一変するほど驚きました。私にとって消費税は、取られるお金でした。しかし、今回、税金の使われ方やどうして使われているのかなど、教科書に書かれていた

メッセージが税金の重要性を教え、気づかせてくれました。

税の作文を書くことを通して、私は税金と学校との関係について改めて知ることができました。また、税金によって自分の身近なものや身の回りのものが守られ、安全に過ごせていることはとても幸せなことだと思いました。私はまだ中学生なので、消費税くらいしか納められていないけれど、自分が納めた税金が誰かに役立てられていると思うとうれしいという気持ちになりました。みんなでおたがいを支え合っているから毎日があたりまえに感じるんだと思います。これからもこの先大人になっても社会にこうけんできる人間になりたいと思います。